

## 地域ケア推進会議 報告書

## 【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年9月26日
作成 高齢者支援センター	忠生第1
作成者	神成

1.開催日時	2022年9月15日	(木)	18:00	～	19:00			
2.会場	オンライン開催							
3.主催センター	忠生1	・	忠生2	・				
4.参加人数	18人							
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター		7人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター		1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者		3人	(うち、医師	1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	5人	
	<input type="checkbox"/> 民生委員		人	<input type="checkbox"/> 老人会		人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会		人	<input type="checkbox"/> 警察		人	<input type="checkbox"/> 行政	人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		(	まちなひ 地域障が 相談室 い者	2人	)		
6.開催テーマ	支え合いのまち 忠生「災害と感染症の中での私たちの暮らし」							
7.地域課題	(1) 課題設定の背景							
	2年前に開催予定であったが、感染症拡大にともない話し合いができなかった。この2年間において医療・福祉関係者がどのような取り組みをしてきたかの情報共有から課題の抽出をおこなう。							
8.会議の内容	(2) 検討した地域課題							
	これまで「支え合いの町 忠生」がおこなってきた取り組みの経過を共有するとともに、2年間コロナ禍において話し合いが関係者間でできなかった事から情報共有ができなかった。この2年間において医療・福祉関係者においてどのような取り組みをしてきたか改めて情報共有していく必要性がある。							
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	①主旨の確認と振り返り ②コロナ禍において現在までの状況と対応について各事業所より報告 感染予防のため、職員は消毒持参、事務所にパーテーション設置、訪問等を控え、電話で対応、研修等も参集でなくオンラインが進んだ。利用者は感染状況により外出を控えたり、サービスが利用できずADLの低下、入所の方は面会や地域交流が中止となり認知力の低下も見られた。医療では当初、治療方法も不明で命がけの気分で対応したが、ワクチン接種も進みステロイドの使用が有効なのもわかり不安が軽減している。高齢の方や基礎疾患のある方のリスクは高いがそれはコロナに限らない。ただ若い人で軽症の方も後遺症が長引く方がいるので、効果のある感染対策をして、感染しない努力を続ける必要はある。							
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	コロナ禍の現状をみながら、真に効果のある感染予防や対応方法を、根拠を確認して持ち寄り、地域住民にも提供できる場を持つ							

医療と介護の連携支援センター 確認日	9月27日
--------------------	-------